

## 算数的な表現力を育てるために ノート指導編

課題解決の場面では、見通しをもち根拠を明らかにし、筋道を立てて考えさせ、その過程を言葉、数、式、図、表、グラフなど用いて表現させていくことが大切です。

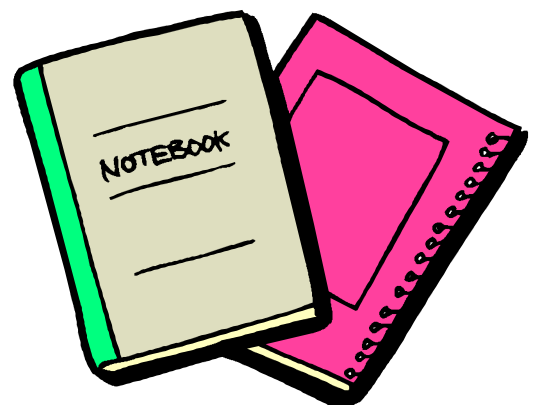
そのためには、「ノートに書く活動」を充実させ、考えを表現させることが必要であると考えます。

平成 21 年度全国学力・学習状況調査【小学校】報告書によると、「算数・数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている」と回答している児童生徒の方が算数・数学の記述式の問題だけでなく、B問題（主として「活用」に関する問題）全体の正答率が高い傾向が見られました。

そこで、今回、低学年、中学年、高学年、特別支援学級について発達段階に応じてノート指導を工夫し、児童の自ら考え、解決する力を伸ばしている学校の取組みについて紹介いたします。

各学年等に応じたノート指導のポイントが示されています。学校全体でノート指導を進める上で、参考資料にしていきたいと思えます。

今回、ご紹介するのは、[苫小牧市立豊川小学校](#)の取組みです。

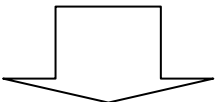
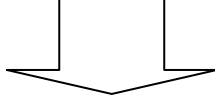
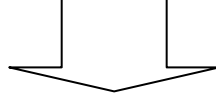
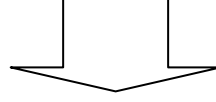


## 書き表す表現力の育成

### Point

自力解決の場面において、ノート指導を工夫することによって、筋道を立てて自ら考え、解決する力を伸ばすための取組み

### 《発達段階に応じたノート指導》

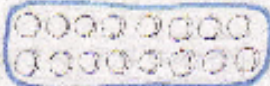
学年	低学年	中学年	高学年	特別支援
めあて	◎黒板を丁寧に写すことができるようにする。	◎次第に自分の考えを入れてノートをつくることができるようにする。	◎自分の考えを自分の言葉で書いた「オリジナルシート」をつくることができるようにする。	◎手元の手本を見て、ゆっくり丁寧になぞったり、書いたりできるようにする。
声かけ支援	『大きくていねいに書こう』 	『自分の考えをまとめて書こう』 	『学習の足跡を残そう』 	『よく見て、丁寧に書こう』 
留意点	○ 指示して書かせる。 ○ 丁寧に書かせる。 ○ ノート作りの約束事を定着させる。 ○ 自分の考えを、絵などでかけるようにする。	○ 絵や図、言葉等を使って自分の考えを書けるようにする。 ○ 見た人が分かりやすいように、簡潔にまとめて書けるようにする。 ○ 友だちの考えや教師の助言等を書き込むなど、工夫して書けるようにする。	○ 絵や図を問題に合わせて適切に用いながら、自分の考えを分かりやすくかけるようにする。 ○ 自分の考えと友だちの考えを比べ、よりよい考えをつけ加えながら書けるようにする。	○ 手元にある手本を見ながら、姿勢の保持や道具の持ち方、筆圧に注意して、ゆっくり丁寧になぞることができる。 ○ 手元にある手本を見ながら、姿勢の保持や筆圧に注意して、ゆっくり丁寧に書けるようにする。

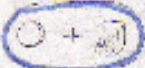
\* このような指導により、次のような結果がみられました。

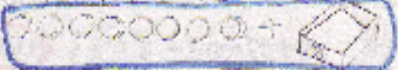


<児童のノート例>

① 火を食った武が何を走すのか考えよう。

②  $ス \times 16$   
 $ス \times 16$ は、クッキー 16枚の代金です。  


③  $ス + 600$   
 $ス + 600$ は、クッキー1枚と紅茶1個の代金です。  


④  $ス \times 8 + 200$   
 $ス \times 8 + 200$ は、クッキー8枚と紅茶1個の代金です。  


クッキー1枚と紅茶1個をあわせた代金

あとで見た時に役立つメモ。

絵を書いて、文字を使った式の意味をわかりやすく表したノート。自分でポイントと考えた事柄を、メモ書きするなどの工夫も見られます。

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪

⑫

⑬

⑭

⑮

⑯

⑰

⑱

⑲

⑳

㉑

㉒

㉓

㉔

㉕

㉖

㉗

㉘

㉙

㉚

㉛

㉜

㉝

㉞

㉟

㊱

㊲

㊳

㊴

㊵

㊶

㊷

㊸

㊹

㊺

㊻

㊼

㊽

㊾

㊿

「比例」を学習した時のノート。友達が説明の中で使った、「それにとってもなって」を大切な言葉に気付き、メモ書きしています。

友だちが説明の中で使った「大切な言葉」をメモ!!



